

<H27年度防災学習会まとめ> (H27.8.17~19)

①参加者満足度(%)

	平均値		
営業	83.5	※参考(H26)	
輸送	68.1	85.8%	87人
他	100		
合計	83.9	意見集約人数	62人

<内容>

- ①-1.青森駅対応マニュアルの確認(ppt)
- ①-2.総合防災訓練について(副駅長より)
- ②.DVD『正しく知って、身を守ろう』学習
- ③.駅災害用備蓄品確認

②防災の取り組み(主な意見)

1	防災用具の確認をする。
2	テレビなどで細目に情報を得る。
3	長期保存できる食料を準備。
4	常にニュースなどで災害状況を確認する。
5	災害を想定し列車緊急停止手配・お客さま誘導等、シミュレーションを心掛けている。 常に最悪の状況を想定し、何が出来るか考える。
6	大雪が見込まれる時は早目のラッセル及び除雪の要請をしている。
7	常に人命を第一に考え行動する。
8	日常での異常箇所等に目配りしておく。
9	自然の力には勝てないので非常持ち出し袋や避難場所等を把握し自分の身を守る事を最優先する。
10	家の周辺に可燃物を放置しない。
11	除雪回数が増えるため、除雪道具を増やした。
12	家のまわりを片付ける。
13	マニュアルの確認。
14	避難経路の確認。
15	予報情報を収集し、巡回に努めている。巡回後、大雪に対し事前に対応をしている。
16	普段と違う状況であれば列車を出さない。
17	電池やラジオはライトを手の届くところに準備している。
18	家から出ない、事前の情報収集。
19	災害用備蓄品の管理。
20	大雪にならぬよう祈る。

③主な意見・感想

1	何があるか分からないので、訓練を出来るだけするようにして欲しい。
2	職場へ安否報告する際、電話やメールが繋がりにくいことから、安否システムを導入し登録してもらっているのですが、基本、安否システムが基本だということを伝える必要があると思う。
3	東京の防災センターの見学に多くの社員をやる。
4	災害が起きてからでは遅いので普段から非常食などの準備をして行きたいと思いました。
5	災害が起こった際、社員としてどう動けばよいか知らなかったのが、学べて良かった。ただ、お客さまの救助対応が不安だと思った。そちらも学習したい。
6	災害時の行動基準を確認できて良かった。
7	総論・一般論ではなく、“青森駅ホームにいる時に大地震発生、さてどうする？”のような具体的な話に興味があります。“どう行動するか”のイメージ作りが重要だと思います。
8	これからも行って下さい。
9	防災の日に合わせて、繰り返しの勉強会は必要だと思った。
10	DVDを使った学習は資料だけの学習と違いメリハリが出て有意義だと思う。

<5つの基本的な考え>

- ①家族の安否を確認し救助活動等への体制を整えます。
- ②社員一人ひとりがマニュアルに従って、自律的に行動します。
- ③人命救助を優先し、グループ会社全体で72時間以内に最大限の救助活動を行います。
- ④お客さまはもとより被災した社員・家族も救助の対象として対応します。
- ⑤東京圏30km圏で発生した場合は、「本社対策本部」(東京支社ビルまたは高崎支社ビルに設置)に指揮を一本化します。

青森駅からの避難場所

青森市指定



青森市民ホール
(リンクモア平安閣ホール)

青森駅指定



ラビナ駐車場
※市民ホール使用不可の場合

青森駅社員 非常参集場所
都合の良い方へ自律的に参集!

青森駅東口



青森駅前広場
(駅前交番~駅ビル間)

青森駅西口



青森駅西口小公園
(西口広場前の芝生横)

<5つの基本的な考え>

<指定避難場所>

<非常参集場所>